



設置する前に、本書とすべての安全に関する警告をお読みください。

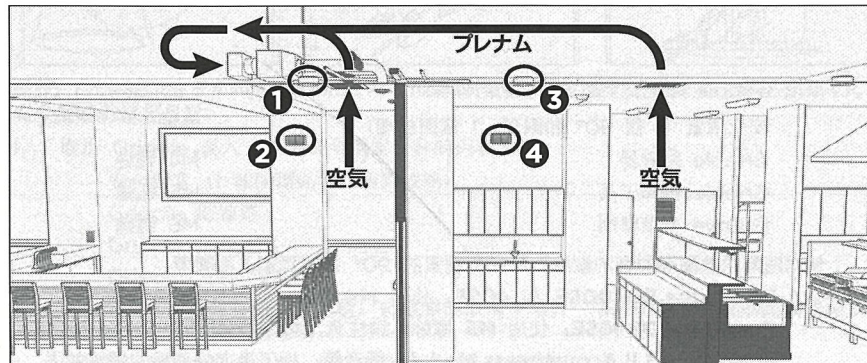
はじめに

当社の一部のスピーカーの取り付け部品が、特定の環境下にさらされることで、劣化して破損する可能性があることが判明しました。取り付け部品が破損した場合、スピーカーが落下して、怪我や物的損害を招くおそれがあります。取り付け部品が劣化する高い可能性がある物質は、潤滑剤と食用油のみです。したがって、施工の際には潤滑剤を使用しないでください。また、食用油にさらされる環境下でスピーカーを使用する場合は、安全ケーブルを必ずご使用ください。

用途

以下の条件のいずれかに該当するスピーカーには、安全ケーブルが必要です。

- A 加熱調理スペースがある部屋に設置されている。つまり、スピーカーと加熱調理スペースが、(1)フルハイトの壁、(2)フルハイトのドア、または(3)通常は閉じられている壁面開口部によって仕切られていないことを意味します。
- B 天井埋め込み型のスピーカーで、天井プレナムリターン付きのHVACシステムを介して、調理エリアのある部屋からの空気にさらされる。HVACシステムは、建物内に冷暖房を提供するシステムです。天井裏の排気プレナムは、構造上の天井と吊り天井の間にある仕切られた空間で、HVACシステムにおける空気の循環を可能にします。



上の図では、設置済みのボーズスピーカーが丸で囲まれ、番号が付けられています。

- 1 このダイニングにある天井埋め込み型のスピーカーは、安全ケーブルが必要です。
- 2 このダイニングにある露出型のスピーカーは、安全ケーブルが必要ありません。
- 3 このキッチンにある天井埋め込み型のスピーカーは、安全ケーブルが必要です。
- 4 このキッチンにある露出型のスピーカーは、安全ケーブルが必要です。

対象となる製品

下に示されている製品のすべてのバリエーションと、取り付けアクセサリ（ペンダントマウントキットなど）:

天井埋め込み型モデル:

EdgeMax EM90
EdgeMax EM180
FreeSpace DS 16F
FreeSpace DS 40F
FreeSpace DS 100F
FreeSpace 3 Flush-Mount Satellites
FreeSpace 3 Series II Acoustimass module

露出型モデル:

FreeSpace DS 16S/16SE
FreeSpace DS 40SE
FreeSpace DS 100SE

安全に関する警告



警告: 設置時に炭化水素を基材とする溶剤、潤滑剤、および一切の洗浄剤をボーズのスピーカーや取り付け部品に対して、またはその周辺に使用しないでください。取り付けアンカーやネジに対して、またはその周辺に炭化水素を基材とする溶剤、潤滑剤、あるいは洗浄剤を使用するとプラスチック材が劣化する可能性があり、ひび割れや製品の早期破損を招く原因となり得ます。これらの取り付け部品が破損した場合、スピーカーが落下して、人が負傷したり、財産への損害が発生したりする可能性があります。

スピーカーのお手入れには乾いた布のみを使用してください。



警告: 同梱の安全ケーブルを使用してスピーカーを設置できない場合は、スピーカーを設置しないでください。

スピーカーを建物の支持構造に固定するために、同梱の安全ケーブルを使用することが必要となっています。適用される建築基準や規制を満たす設置場所や設置方法、器具を選択してください。

任意の時点において（設置作業を行っている間を含みます）、スピーカーが落下して、安全ケーブルによって保持された場合は、安全ケーブルを新品に交換します。落下したスピーカーを保持した安全ケーブルは、使用しないでください。

また、同梱のGripple®設置ガイドラインを読んで、Grippleファスナーを安全に使用してください。

安全ケーブルの仕様

同梱の安全ケーブルの長さは、以下のとおりです。

天井埋め込み型スピーカーの場合: 6.1 m (20.0 ft)

露出型スピーカーの場合: 1.5 m (5.0 ft)

より長い安全ケーブルが設置に必要な場合は、下の仕様に準拠したものを使用してください。

材質: EN12385に準拠した亜鉛メッキ高張力鋼

ケーブル直径: 2 mm (5/64 in)

より線構成: 7 × 7

Gripple安全ケーブルが短すぎる場合は、上に示した仕様を満たす場合に限って、より長い安全ケーブルで代替することができます。これらの要件を満たさないと、スピーカーが落下して、怪我や物的損害を招くおそれがあります。

ケーブルがスピーカーおよび建物の支持構造に適切に取り付けられており、スピーカーが落下した場合にスピーカーが保持されるようになっていることを確認してください。

独自のケーブルを使用する場合は、安全ケーブルのたるみを取り除いて、スピーカーが落下した場合に落下防止ケーブルによって天井から（天井埋め込み型スピーカーの場合）または取り付け位置から（露出型スピーカーの場合）152ミリメートル（6インチ）を超えてスピーカーの上部（リア）が落下しないようにする必要があります。

ボーズ提供のケーブル、またはボーズ指定の要件を満たすより長い代替ケーブルを取り付けられない場合は、スピーカーを設置せずに、ボーズに返送してください。

サポートおよび連絡先情報

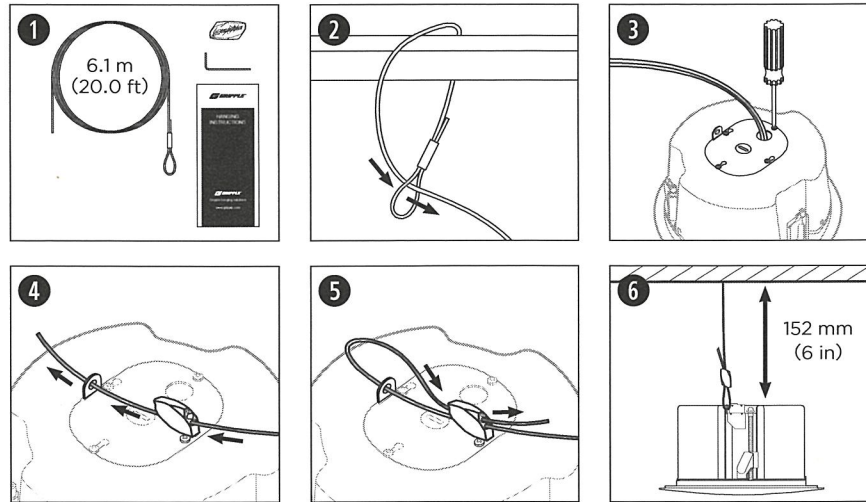
不明点などがありましたら、Bose Professionalの販売担当者までご連絡ください。

bosepro.link/contactで、担当のセールスオフィスをご確認いただけます。

GrippleはGripple Limitedの登録商標です。BoseはBose Corporationの登録商標です。本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複製、変更、配布、その他の使用は許可されません。

設置手順

天井埋め込み型スピーカーの場合



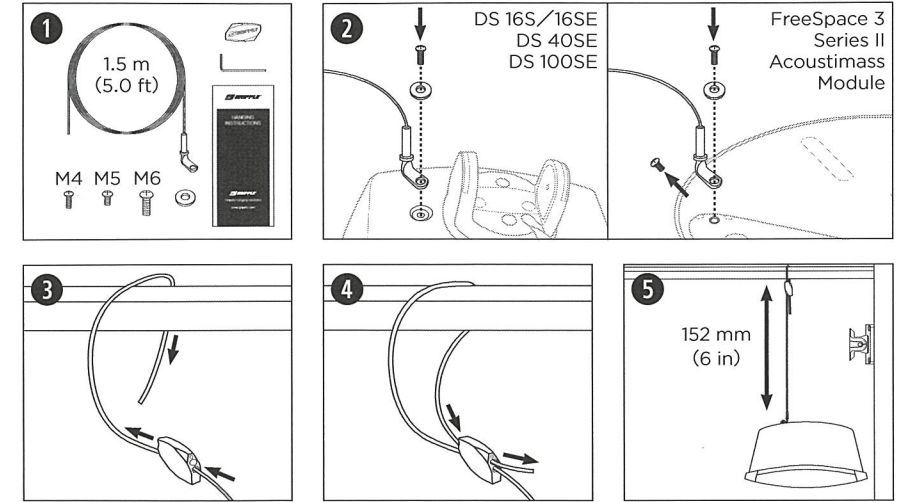
注: FreeSpace 3 Series II Acoustimass moduleでは、露出型の落下防止ケーブルが必要です。天井埋め込み型の落下防止ケーブル用の取り付けポイントは付属していません。

- Gripple天井埋め込み型安全ケーブルキットを開梱して、次のものを取り出します。
 - 安全ケーブル(一端が閉じたループで、もう一端がオープン)
 - Grippleファスナー
 - Gripple取り外しツール
 - Gripple設置ガイドライン
- 落下防止ケーブルを、建物の支持構造に巻き付けます。ケーブルの開放端を、もう一方の端にある閉じたループに通します。ケーブルが建物の支持構造に固定されるまで、開放端を引っ張ります。
- 必要なオーディオ接続を行い、その後、リアカバープレートをスピーカーに取り付けます。
- 安全ケーブルの開放端を、Grippleファスナーに通します。その後、スピーカーの取り付けポイントにケーブルを通します。
- ケーブルを、Grippleファスナーの2番目の挿入孔に差し込みます。Grippleファスナーによってケーブルが固定されます。Grippleファスナーとスピーカーの取り付けポイントの間の距離が**76ミリメートル(3インチ)**以上あるようにしてください。
- 安全ケーブルのたるみを取り除いて、スピーカーが落下した場合に落下防止ケーブルによって天井から**152ミリメートル(6インチ)**を超えてスピーカーの上部(リア)が落下しないようにします。

Grippleファスナーとスピーカーの取り付けポイントの間に**76ミリメートル(3インチ)**の間隔を確保するために、Grippleファスナーを使用して両端のループを調整することが必要になる場合があります。このようにすることで、後で調整を行うための十分なケーブル長が確保されます。

Grippleファスナーの位置を修正する必要がある場合は、同梱のGripple設置ガイドラインを参照してください。

露出型スピーカーの場合



- Gripple露出型安全ケーブルキットを開梱して、次のものを取り出します。

安全ケーブル(一端が直角アイレット、反対側が開放端)	ワッシャー
Grippleファスナー	M4ネジ
Gripple取り外しツール	M5ネジ
Gripple設置ガイドライン	M6ネジ
- 安全ケーブルの直角アイレットを、同梱のワッシャーおよび対応するネジを使用して、スピーカーに取り付けます。
 - FreeSpace DS 100SEおよび40SE:** M4ネジを使用します。
 - FreeSpace DS 16SE:** M5ネジを使用します。スピーカーの孔はセルフタッピング孔であることに注意してください。
 - FreeSpace 3 Series II Acoustimass Module:** リアカバープレートからネジを取り外して処分し、ケーブルの穴の開いた端を、同梱の**M6ネジ**およびワッシャーを使用して、ネジ穴に取り付けます。
- 安全ケーブルの開放端を、Grippleファスナーに通します。その開放端を、建物の構造または構造上の取り付けポイントに巻き付けます。
- ケーブルを、Grippleファスナーの2番目の挿入孔に差し込みます。Grippleファスナーによってケーブルが固定されます。

Grippleファスナーと建物の構造または構造上の取り付けポイントの間に間隔を確保するために、Grippleファスナーを使用して両端のループを調整することが必要になる場合があります。このようにすることで、後で調整を行うための十分なケーブル長が確保されます。

注: もしくは、安全ケーブルのもう一端を、構造全体に固定するのではなく、スピーカーの上方のアイスクリューに固定します。
- 安全ケーブルのたるみを取り除いて、スピーカーが落下した場合に落下防止ケーブルによって取り付け位置から**152ミリメートル(6インチ)**を超えて落下しないようにします。

Grippleファスナーの位置を修正する必要がある場合は、同梱のGripple設置ガイドラインを参照してください。